

2010-2011 年度 財団学友小委員会

委員長 高寺 壽 (泉大津)

委員 藤原 重行 (泉大津) 川端 健夫 (太子) 坂本 順一 (和歌山)

【活動基本方針】

- ・財団学友会の支援と協力
- ・ロータリー会員候補として適格な財団学友のリサーチおよび勧誘

財団学友会とは、元財団国際親善奨学生、元GSE(財団研究グループ交換)参加者により構成される組織で、財団国際親善奨学生並びにGSE団員は帰国後自動的に財団学友会会員となる。

財団学友は将来有望な人達であり、ロータリーの良き理解者でもあります。ロータリーにとっても学友にとっても、お互いの関係は大きな財産です。また、学友は将来のロータリアン候補でもあり、学友委員会は、学友とロータリーの良好な関係を維持するとともに、学友会の発展拡充を支援していきます。また、スポンサークラブと学友の関係維持にも協力していきます。

【活動計画】

①帰国報告会の開催

毎年、開催されるクラブ財団委員長会議で、帰国奨学生による「帰国報告会」を開催する。

②財団国際親善奨学生のオリエンテーションに協力

学友委員による奨学生および帰国後の財団学友の義務等のレクチャー並びに学友による体験報告及び相談を行う。

③帰国奨学生が義務付けられている講演等の完了に協力

各クラブより要請のある卓話の斡旋・調整他を行う。

④IM等での会議に出席

学友委員会・学友会を理解して頂くための活動等を説明する。

⑤財団学友を地区大会等に招待

学友に地区大会等の会議に参加を要請する。地区大会時に、財団学友会総会の開催を支援する。また、各クラブには、財団月間等に学友の例会への招待を奨励する。

⑥財団学友会の定期的開催に協力

地区大会時に財団学友会総会の開催支援、その他財団学友同窓会・懇親会等の開催を支援する。

⑦財団学友会の組織拡充・追跡調査の支援

財団学友会の組織拡充支援と学友の追跡調査を行い、ロータリーとの関係を維持強化し、将来のローター会員候補への道筋を保つ。

⑧冊子「がくゆう」の発行

留学等の報告書、財団学友名簿など記録を最新のものに編集して年度末に発行する。